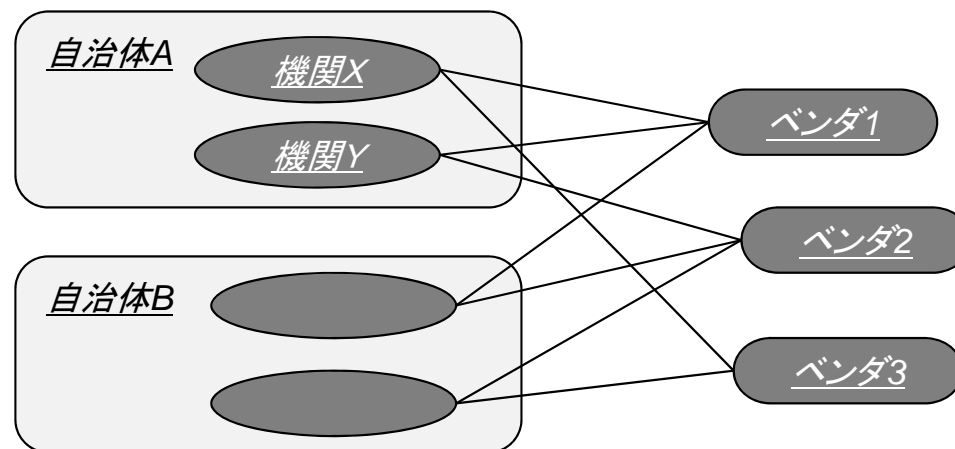


九州全体としてカリキュラム作成と講師育成を行う「カリキュラム開発コミッティ」を継続的に形成。開発されたカリキュラムを各自治体で実施する形を目指す。

現状

- 各自治体の既存の産業教育機関は、それぞれがソリューション別に個別に情報収集している。
→ 情報収集の手間が掛かる。
ソリューション統合は自分で考えることになる。
- ソリューションベンダーは、各自治体の既存の産業教育機関に個別に営業している。
→ 営業効率が悪い。



目指す姿

- 各自治体で「実証ラボ・企画運営委員会」を新設し、各自治体の産業教育機関への要望を集約。
→ 地域全体でメニューに漏れ・重複が減る。
- 上記で集約された要望を、九州全体のコミッティが集約する。
→ ソリューションベンダーの営業効率が向上。
- 九州全体のコミッティが、ソリューション統合されたコンテンツをベンダーと共同で開発。
→ 各自治体産業機関は、コンテンツ開発の負荷が減る。

